

※ 適正校である旨の通知を受けていない大学（短期大学、大学院を含む。）、大学に準ずる機関、  
高等専門学校に入学する又は在籍している場合の提出書類一覧表

<更新用>

番号	必要書類	提出の要否		提出確認欄		備考
		別表掲載国・地域	同左以外	いずれか 選択		
1	在留期間更新許可申請書	○	○	有	無	
2	提出書類一覧表（本表）	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	所属機関が申請を提出する場合は任意
3	出席証明書（発行可能な場合）、成績証明書及び卒業証明書（直近の在留申請時以降に在籍した全ての教育機関に係る証明書）	○	○	有	無	
4	研究内容を証する文書	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	大学等において、専ら聴講によらない研究生として受入れられる場合
5	履修届けの写し又は聴講科目及び聴講時間を証する文書	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	大学等において、聴講生、科目等履修生、専ら聴講による研究生として受入れられる場合で、申請時に決定している場合
6	大学の管理体制を説明した文書	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	大学の夜間において授業を行う大学院の研究科において、専ら夜間通学して教育を受ける場合
7	在学証明書（入学前に申請する場合は入学許可書）	○	○	有	無	
8	滞在費支弁に関する申告書	△ （備考欄参照）	○	有	無	<b>別表掲載国・地域は、直近の在留期間更新許可申請時において、資格外活動許可に係る指導を受けている場合</b>
	滞在費を本人支弁とする場合					
9	直近の住民税の課税（又は非課税）証明書及び納税証明書（アルバイトを1年以上行っている場合） ※1年間の総収入及び納税状況の両方が記載されていればアルバイトによる収入等に係る記載がある預金通帳の写し等でも可	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	<b>直近の在留期間更新許可申請時において、資格外活動許可に係る指導を受けている場合、かつ、本邦での資格外活動許可により得た収入や報酬を滞在費支弁に充てている場合</b>
10	給与明細書の写し（アルバイトを行ったのが1年未満である場合） ※アルバイトによる収入等に係る記載がある預金通帳の写し等でも可	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	
11	本国での収入又は資産の額を証明する資料	△ （備考欄参照）	○	有	無	<b>別表掲載国・地域は、直近の在留期間更新許可申請時において、資格外活動許可に係る指導を受けている場合</b>
	滞在費を他人支弁とする場合					
12	送金証明書	△ （備考欄参照）	○	有	無	<b>別表掲載国・地域は、直近の在留期間更新許可申請時において、資格外活動許可に係る指導を受けている場合</b>
13	携行者の身分を証する資料	△ （備考欄参照）	○	有	無	
14	経費支弁者との関係を明らかにする資料	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	直近の在留申請時から変更が生じている場合
15	経費支弁者の収入を証明する資料	△ （備考欄参照）	△ （備考欄参照）	有	無	次のいずれかに該当する場合 ・別表掲載国・地域で直近の在留期間更新許可申請時において、資格外活動許可に係る指導を受けている場合 ・本邦に居住するものが経費支弁者となる場合
16	奨学金の給付に関する証明書	△ （備考欄参照）	○	有	無	直近の在留申請時以降、新たに奨学金の給付を受ける場合。貸与型奨学金の場合は、留学生の母国語及び日本語で作成された契約書等が必要。 前回申請から奨学金の給付を受けていた場合は受給実績に関するもの。

教育機関の名称

申請人の氏名